

# オーストラリア金融政策（2024年5月）

依然として利下げ転換の兆候は見えず

2024年5月7日

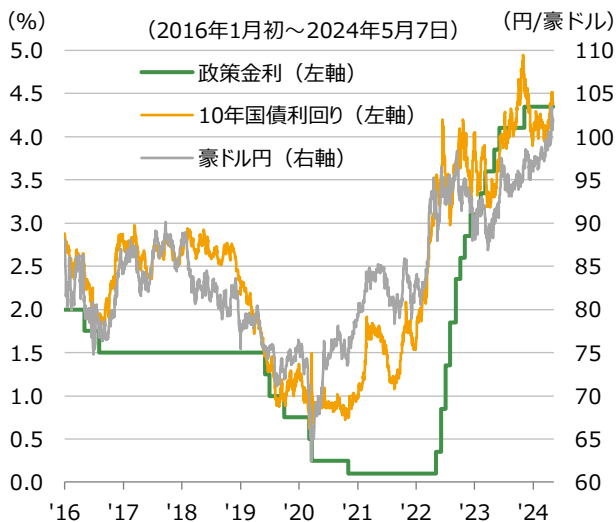
## 経済見通しを改定し、従来以上にインフレ見通しの上振れリスクを警戒

RBA（豪州準備銀行）は5月6日（現地、以下同様）から7日に開催した理事会において、市場予想通り政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。

四半期に1度公表される金融政策報告書では、足元の想定以上に堅調な労働市場のデータを受けて失業率の予想値が下方修正されたほか、インフレ率の想定以上の高止まりやサービス価格の見通し引き上げなどを背景に消費者物価指数の予想値が上方修正されました。同行の推計では依然として需給ギャップがプラスの領域にあり、インフレ率を目標レンジに回帰させるためには引き締めの金融政策を続ける必要があるようです。今後の方針に関しては、次の一手が利上げと利下げのどちらの可能性が高いかを示唆しない中立的なスタンスですが、インフレ見通しに関しては上振れリスクをより警戒する表現に変化しています。また、ブロック総裁は記者会見において、今会合で利上げを検討したことも明らかにしました。

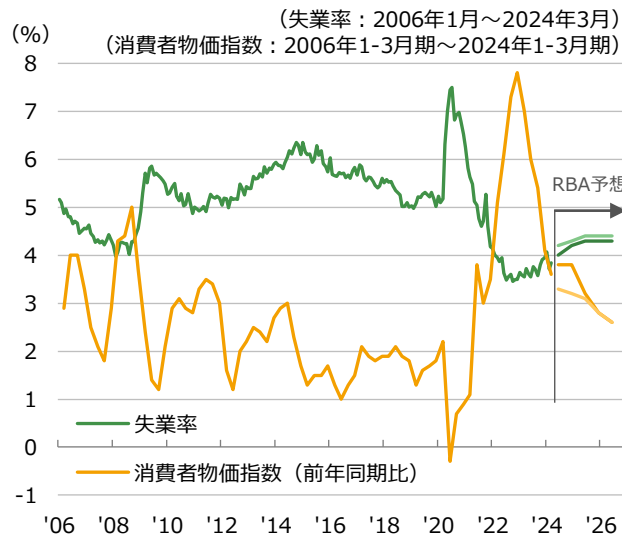
豪州の想定以上に底堅い経済やインフレ率の高止まり懸念に米国の利下げ後ずれ観測も重なり、市場が織り込むRBAの年内利下げ回数は、年初の約2回（1回あたり0.25%ポイントで換算）から直近で0回（利下げなし）まで減少しています。欧米では利下げ開始が視野に入る中銀が増える一方、RBAは利下げ開始の兆候が見えない状況です。金利や為替は今後も不透明な米国の利下げ観測に振らされやすいものの、豪州の利下げが欧米の主要中銀から遅れることによって、豪ドルは相対的に買われやすくなるとみえています。

### 豪州：金利と為替



※10年国債利回りと豪ドル円は2024年5月6日まで  
(出所) ブルームバーグ

### 豪州：失業率と消費者物価指数



※RBA予想は2024年4-6月期～2026年4-6月期  
(薄線は2024年2月時点の予想) (出所) 豪州統計局、RBA

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。**

## むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

### 手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

**【広告審査済】**